

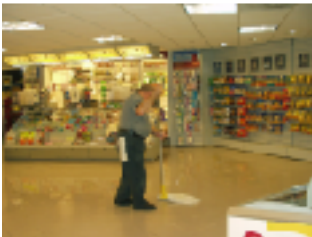
## シカゴのビルメンテナンス会社ABM Lake side incを取材。 実力主義アメリカではビルメンテナンス業において アメリカンドリームもあり得る！



シカゴの典型的なビル



数々の質問に答えて下さったレオン氏と記念撮影



シアーズタワーでワックス作業を見学



夜間清掃をするスペイン人スタッフ

### 言葉の壁と ビルメンテナンス業(清掃業)

移民国家であるアメリカ。英語を話すことが出来ない移民の人達は、コミュニケーション能力を必要とする職業より、まずは作業技術と段取りの良さを重要とする清掃業に就くことが多いようです。彼らは教育を受けていない訳ではなく、母国では資格のある教育を受けていてもアメリカでは活用ができない、そして言葉の壁という問題から清掃業に就くようです。

**一般事務よりは良い賃金待遇。  
清掃は夢への第一歩の職種、  
資金を貯めてビジネスを始めたい。**

ビルメンテナンス業はアメリカでも社会的認知度はやはり厳しいとのことでした。これは清掃という仕事が特別な教育がなくてもできる仕事として考えられているからです。実際の清掃員達は言葉がわからないという理由だけでやっている人もいて、賃金的にはダウンタウンの企業に勤める受付嬢よりも好条件であり、正社員雇用となるため特に不満を持っていないようです。また比較的賃金条件の良い清掃業に就きビジネスを始めるのに必要な資金を貯蓄している人も多く、夢を実現させるための第一歩の職種でもあります。

### 一清掃員から社長へと昇格できる システムが備えられている。

…結果が全てのアメリカ社会。

学歴も社会的地位も関係ない実力社会アメリカ。ハーバード大卒であっても結果が出せなければ普通に解雇され、反対に高卒でも素晴らしい活躍をしている女性もいます。清掃業界も例外でなく、実力次第で一清掃員から管理職、社長に昇格できるシステムになっています。レイクサイドが管理する世界で3番目に高いシアーズタワーを担当し、見学案内して下さった女性はキャリアウーマンそのもの！スペイン出身の彼女は英語をマスターしその実力と共にスーパーバイザーの地位を獲得しました。そして日常業務が終わった夜の9時から取材に応じて下さったポーランド人のレオン氏自身も清掃員として十数年のキャリアを積み**Vice President**となった方です。言葉も分からない異国の地で上り詰めた彼らは、アメリカンドリームを手に入れたと言っては大きすぎでしょうか…？

#### ■ Lakeside Inc.

1992年設立。シカゴを中心にアメリカ中西部の7つの州に会社をもち清掃業務のみを行っている。約250のビルを管理。

従業員数：約5,500人。

2003年ABM industries incorporatedに買収される。

#### ■ ABM industries incorporated

清掃、警備、駐車、エンジニアリング等の総合管理を行っている。

従業員数：65,000人